

新自由主義とたたかう労働組合のネットワークを

怒りを力に！ 11.6 日比谷へ

反原発・反失業！

反原発・反失業の国際統一行動を！
国鉄1047名解雇撤回！ 非正規職撤廃！

11.6全国労働者総決起集会

とき◆2011年11月6日（日）正午

ところ◆東京・日比谷野外大音楽堂

集会後デモ行進

（午後3時30分出発予定。途中、東電前抗議行動を予定）

●呼びかけ●

■全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部

■全国金属機械労働組合港合同

■国鉄千葉動力車労働組合

■国鉄分割・民営化に反対し、1047名
解雇撤回闘争を支援する全国運動

●事務局●

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町 2-8 DC 会館

TEL.043-222-7207

FAX.043-224-7197

写真は 6.19 怒りのフクシマ大行動



11.6集会への賛同と参加を訴えます！



3.11は資本と国家による大犯罪！

3月11日、東北地方を襲った巨大地震と大津波、原発事故は一瞬にして人々の生命を奪い、生活と生業を破壊しました。被災地・全国で数百万の人々が放射線被曝による生命の危機にさらされています。農漁業は壊滅的な打撃を受け、すでに数十万の労働者が職を失い、増税や社会保障制度解体などの攻撃が襲いかかろうとしています。

引き起こされた事態の多くは新自由主義攻撃によってもたらされたものです。公共インフラの民営化による解体、地方自治体の財政破綻、公務員労働者の際限のない削減など、国鉄分割・民営化以来の新自由主義政策は、災害に対する抵抗力を奪い、被害を決定的に破局化させました。

さらに原発事故は、政府・官僚・財界・御用学者・マスコミ・裁判所・御用組合が利権にまみれ、核武装への衝動に突き動かされて推進した原子力政策のウソとペテン、この社会の支配構造の腐りきった本質を暴きだしました。起きていることは、まさに資本と国家による犯罪にほかなりません！

労働運動がいま深刻な危機に

しかし一方、労働運動の深刻な危機が生まれています。「復興」の名のもとにナショナリズムや「挙国一致」があおられる中、あらゆる闘いが放棄され、階級的視点が解体されようとしています。

政府や財界は東北地方を「特区」として規制を取り払い、徹底した低賃金、民営化・外注化・非正規職化を強制しようとしています。公務員労働者の賃金が下げられ、「公務員制度改革」の名のもとに360万人の首切り・非正規職化が強行されようとしています。郵政では16万人の非正規労働者の雇止め・解雇攻撃が進められています。今こそ職場から闘いをまきおこす時です。

闘う労働組合を復権させよう

反原発、反失業の怒りの声が爆発しています。その怒りは社会の隅々まで積み上がり、政府や東電への抗議行動となり、生き抜くための闘いとなって燃え上がっています。とくに、事ここに至っても真実を隠して「安全だ」と宣伝し続ける政府のペテンに対する200万福島県民の激しい怒りの声は沸騰点に向かっています。

資本主義の危機が進行しています。リーマン・ショックをもって始まった世界恐慌は、アメリカで、EUで、日本で国家財政の全面的破綻となって爆発し、それが激しい労働者への攻撃を生み出しています。いま求められているのは、闘う労働組合の復権です。

反原発・反失業の11.6世界統一行動

労働運動の後退・権利喪失の原点となったのが国鉄分割・民営化攻撃でした。だから私たちはこの攻撃と闘い続けてきました。しかし昨年4月9日、国鉄1047名解雇撤回闘争を解体する重大な攻撃が仕掛けられ、この7月には闘争終結が宣言されたのです。私たちは「国鉄闘争の火を消してはならない」と訴え、新たな全国運動を発足させました。全国の労働者の階級的団結をつくりだすこと、現場から自主的な闘いを組織すること、これが私たちの目的です。

関西地区生コン支部は139日の産業ゼネストを貫徹し大弾圧をはね返して前進しています。動労千葉は幾度ものストライキで業務外注化攻撃を阻止しています。港合同は倒産攻撃に対して企業の塀をこえた団結権で対抗し勝利しています。沖縄で、三里塚で、怒りの闘いはひろがっています。

万国の労働者の団結した力が求められています。私たちは、11月6日、反原発、反失業、労働運動復権に向けた世界統一行動を呼びかけます。11月6日、すべての怒りの声を日比谷に総結集させましょう！